

2015年6月1日

2015年3月期決算説明会資料



青木あすなる建設

証券コード: 1865

ご注意: 本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

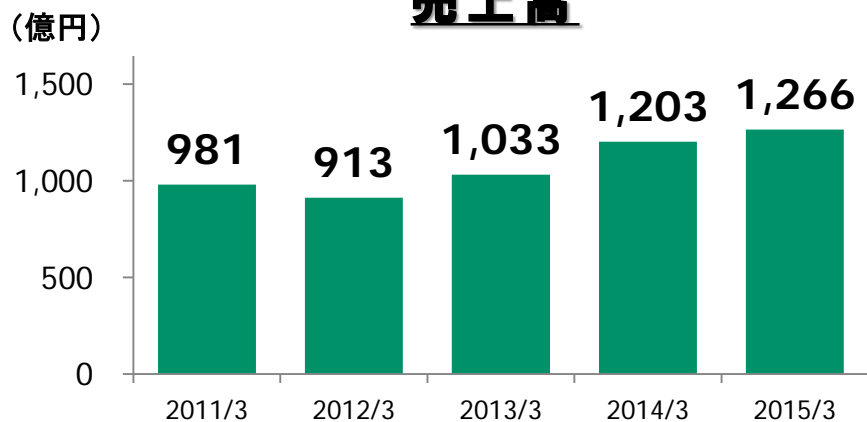


決算説明(連結)

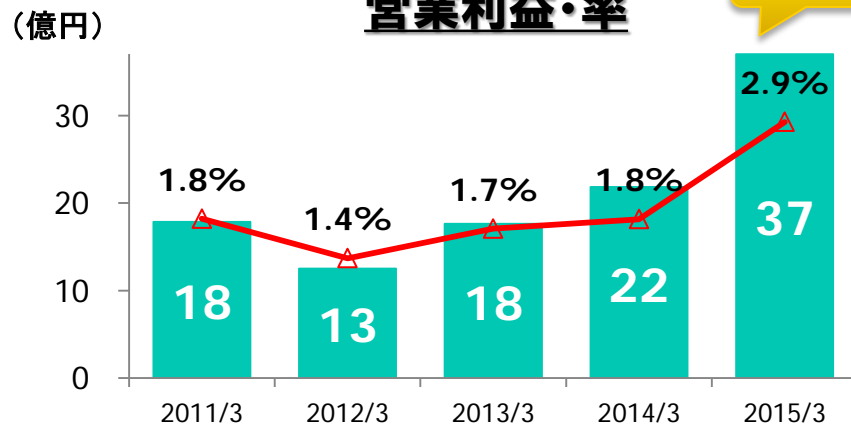
業績(連結)の推移

- 売上高・営業利益は3期連続増収増益、営業利益は過去最高を更新。
- 経常利益・当期純利益は連続増益。

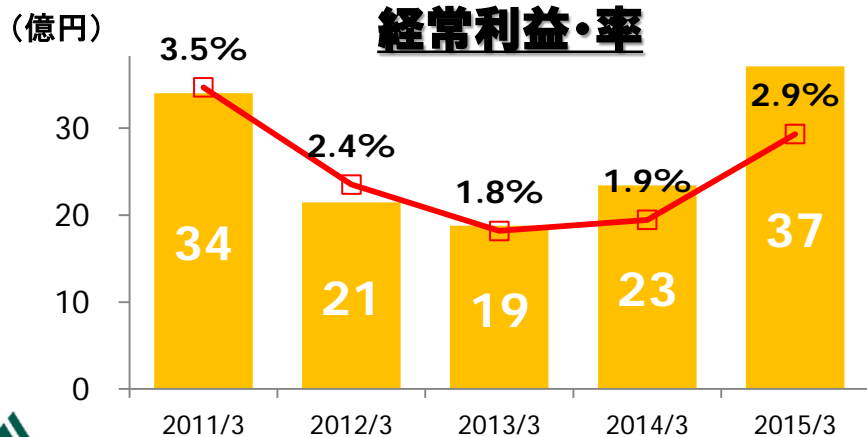
売上高



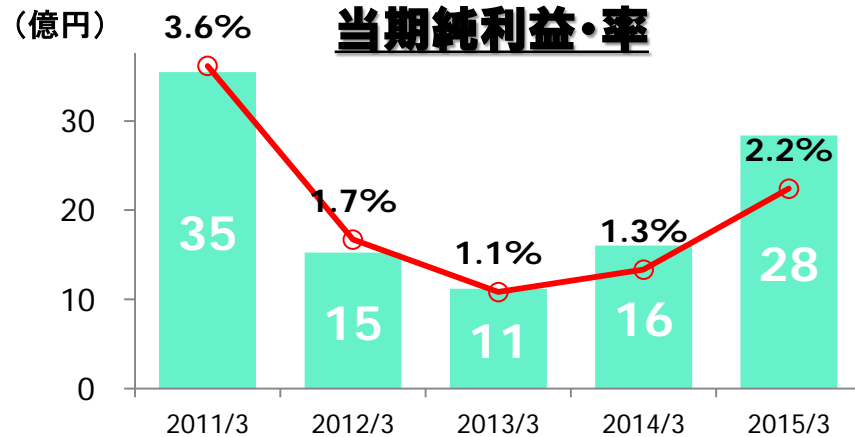
営業利益・率



経常利益・率



当期純利益・率



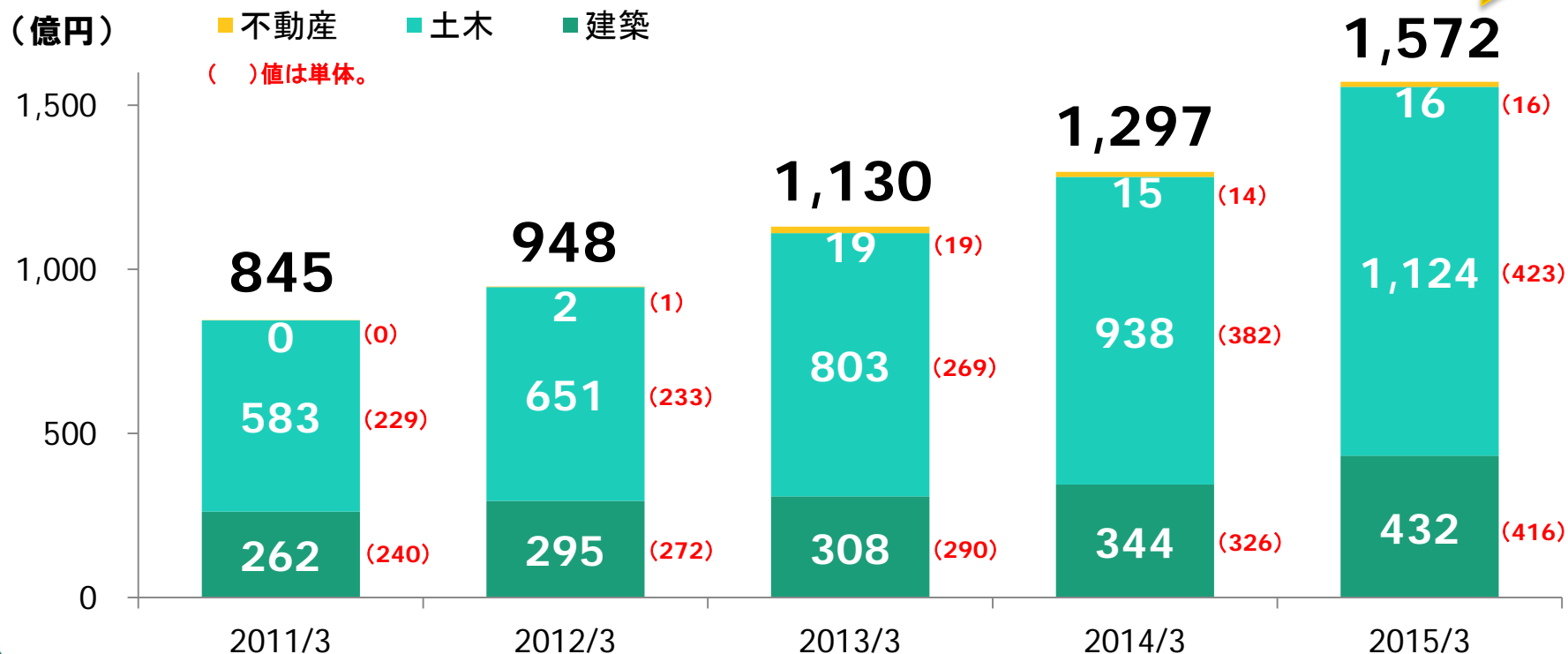
受注高の推移（連結）

■ 受注高は4期連続増加、過去最高を更新。

受注高連単倍率

全体	1.8	1.9	2.0	1.8	1.8
土木	2.5	2.8	3.0	2.5	2.7
建築	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0

過去最高

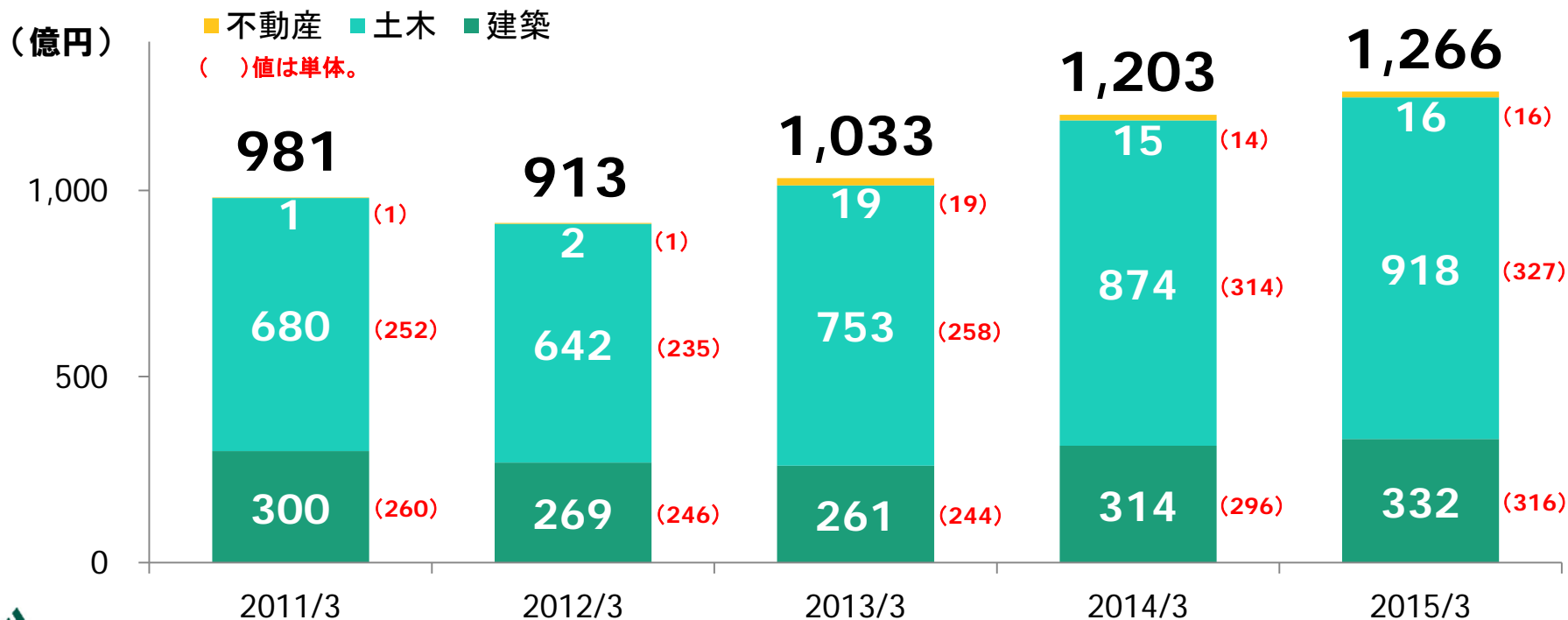


売上高の推移(連結)

■売上高は3期連続増収。

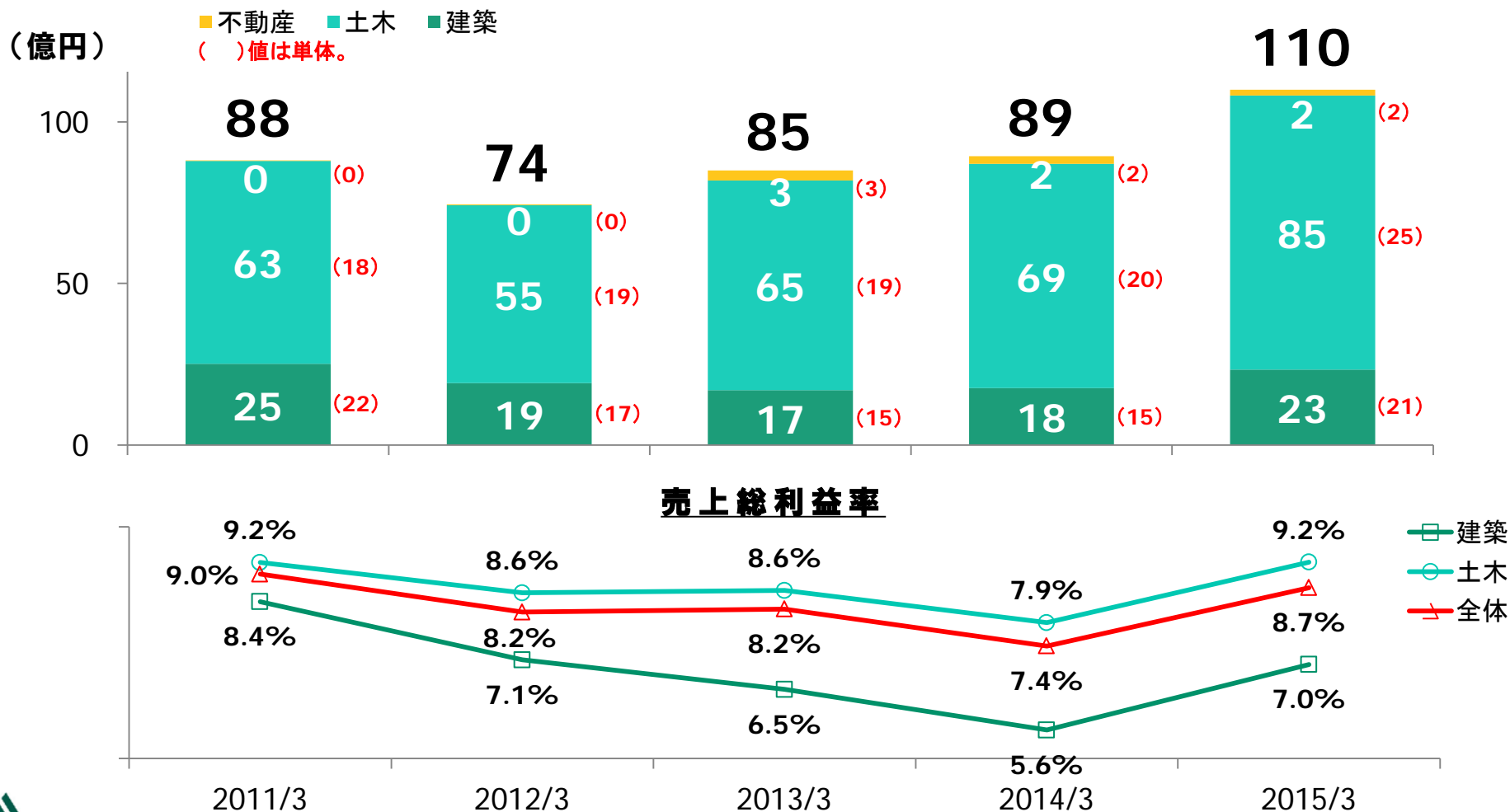
売上高連単倍率

全体	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9
土木	2.7	2.7	2.9	2.8	2.8
建築	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0



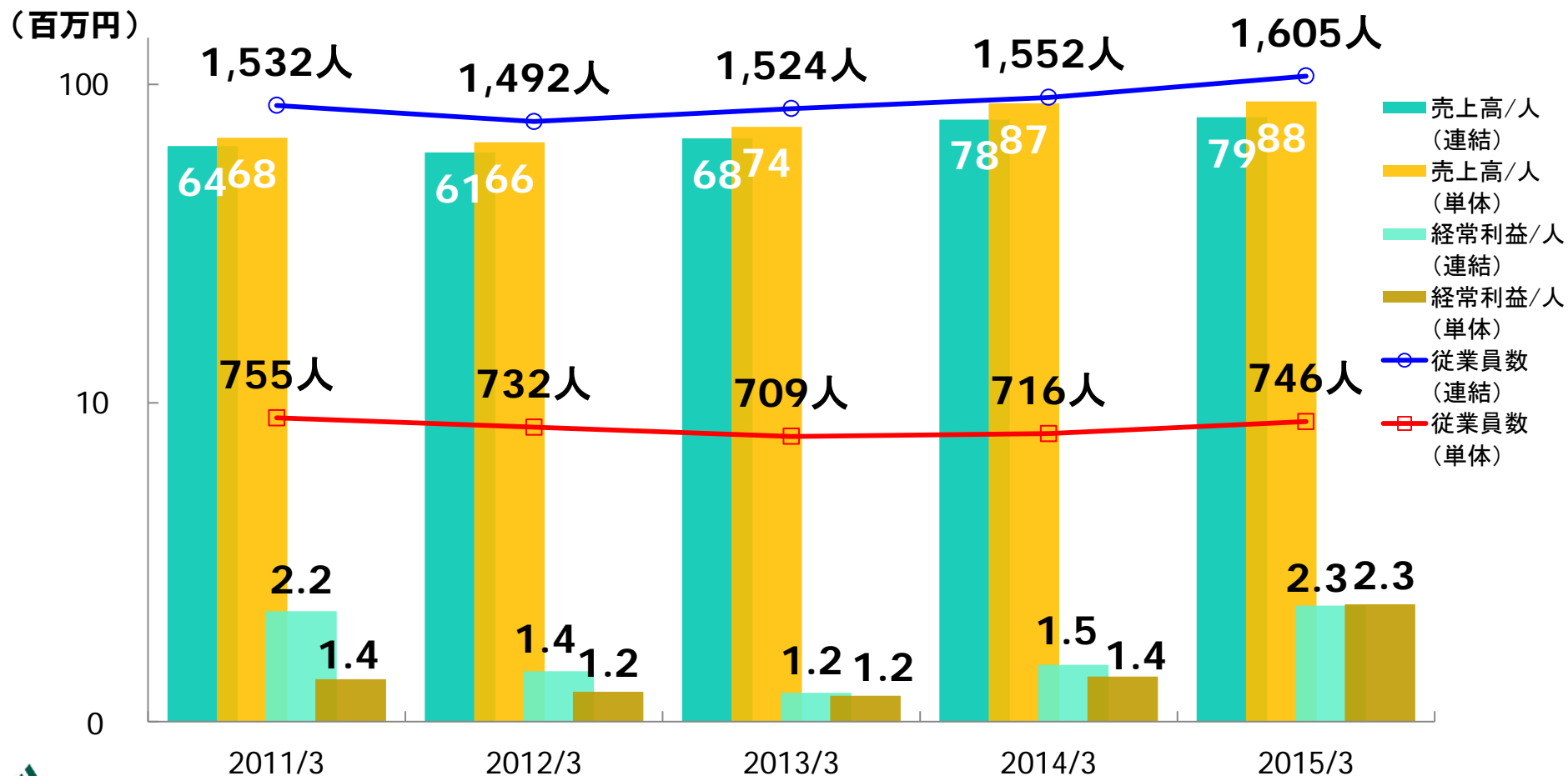
売上総利益の推移(連結)

■売上総利益および売上総利益率は建築・土木ともに**改善傾向**。



従業員数および生産性の推移

■従業員数は**増加傾向**、一人当たりの生産性は**改善傾向**。



貸借対照表(連結)

流動比率
200%以上

	2014/3	2015/3	増減額
流動資産	(828)	(840)	(12)
現金預金	284	286	2
受取手形・完成工事未収入金等	462	451	△11
販売用不動産	14	25	10
不動産事業支出金	14	7	△7
未収入金	36	54	18
繰延税金資産	3	6	3
その他	16	12	△4
貸倒引当金	△2	△2	0
固定資産	(139)	(139)	(0)
有形固定資産	(78)	(73)	(△4)
無形固定資産	(2)	(2)	(1)
投資その他の資産	(60)	(64)	(4)
投資有価証券	34	38	4
長期未収入金	15	12	△3
繰延税金資産	7	6	△1
その他	10	13	3
貸倒引当金	△6	△5	1
資産合計	967	979	12

支払手形
残高ゼロ

	2014/3	2015/3	増減額
流動負債	(315)	(335)	(20)
工事未払金	204	200	△4
未成工事受入金	62	65	2
賞与引当金	8	11	3
その他	41	60	19
固定負債	(90)	(92)	(2)
退職給付引当金	82	83	2
その他	8	9	0
負債合計	405	427	22
株主資本	(566)	(553)	(△13)
資本金	50	50	—
資本剰余金	256	238	△18
利益剰余金	276	284	8
自己株式	△16	△19	△3
その他の包括利益累計額	(△4)	(△1)	(3)
少数株主持分	(0)	(0)	(0)
純資産合計	562	552	△10
(自己資本比率)	(58.1%)	(56.4%)	
負債・純資産合計	967	979	12

有利子負債
残高ゼロ

自己資本比率
50%以上

(単位:億円)

主要連結子会社の業績推移(1)

■みらい建設工業

主要事業：海上埋立工事、海上工事、港湾工事、陸上土木工事



	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	
	金額	金額	金額	金額	金額	増減率
受注高	145	211	267	269	403	49.8%
売上高	218	200	234	292	289	△1.2%
営業利益	9	6	6	6	8	28.9%
経常利益	9	6	6	7	8	15.8%
当期純利益	7	5	6	7	8	16.5%

主要連結子会社の業績推移(2)

■東興ジオテック

主要事業：法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・保冷・耐火工事



	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	
	金額	金額	金額	金額	金額	増減率
受注高	153	155	163	192	210	9.6%
売上高	152	146	163	175	212	21.0%
営業利益	3	3	5	7	13	84.3%
経常利益	3	3	5	7	13	90.1%
当期純利益	3	2	3	3	8	179.3%

(単位:億円)

その他の連結子会社について

会社名	主要事業所	主要事業	2015/3 売上高
青木マリーン	神戸市 東灘区	埋立工事・浚渫工事、 海上輸送	47億円
島田組・アクセス	大阪府 八尾市	埋蔵文化財発掘調査、 土木工事	28億円
あすなろ道路	札幌市 中央区	道路・舗装・土木工事、 合材販売	19億円
エムズ	東京都 中央区	建築リノベーション工事	15億円
新潟みらい建設	新潟県 南魚沼郡	道路・舗装・土木工事、 合材販売	7億円

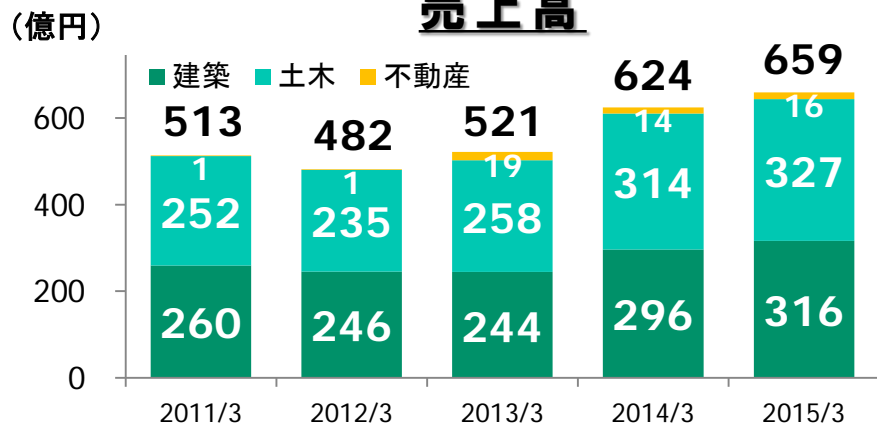


決算説明(単体)

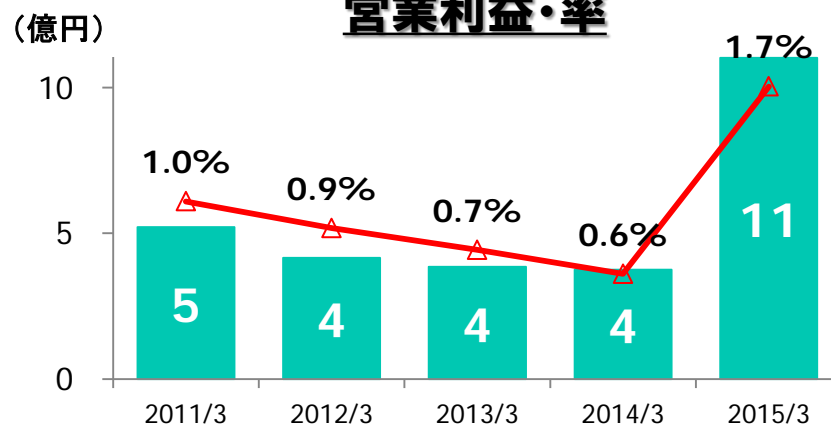
業績(単体)の推移

- 売上高は受注高の増加に加え手持工事が順調に進捗し、**3期連続増収**。
- 利益面は選別受注等により採算性が向上し、**大幅に改善**。

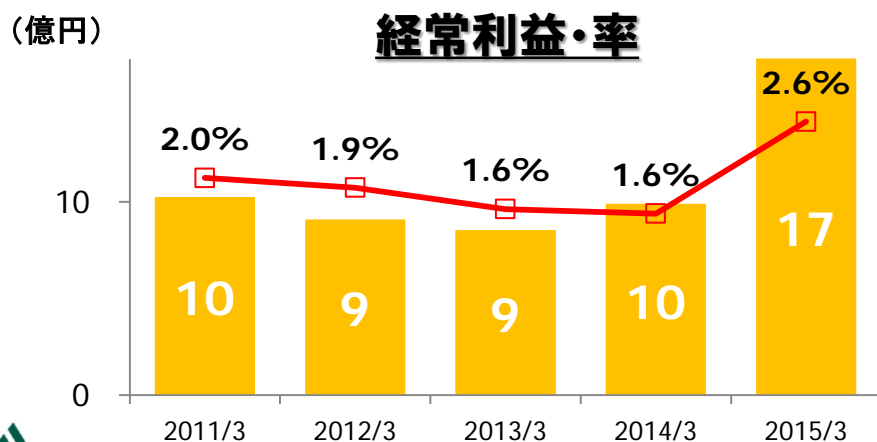
売上高



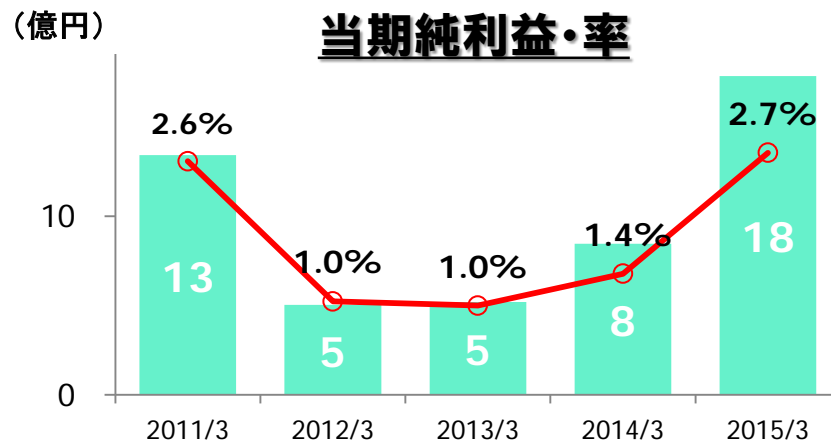
営業利益・率



経常利益・率

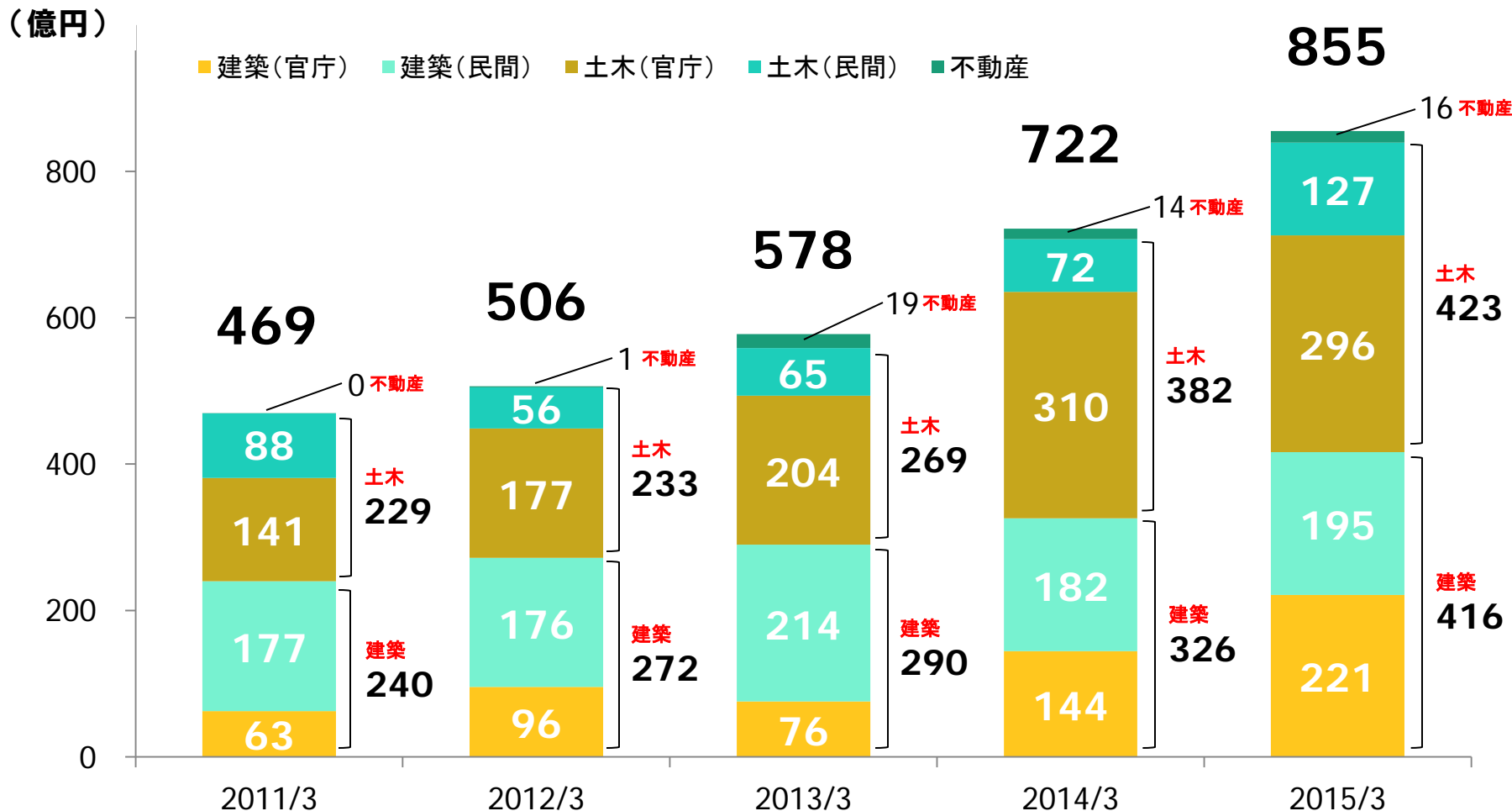


当期純利益・率



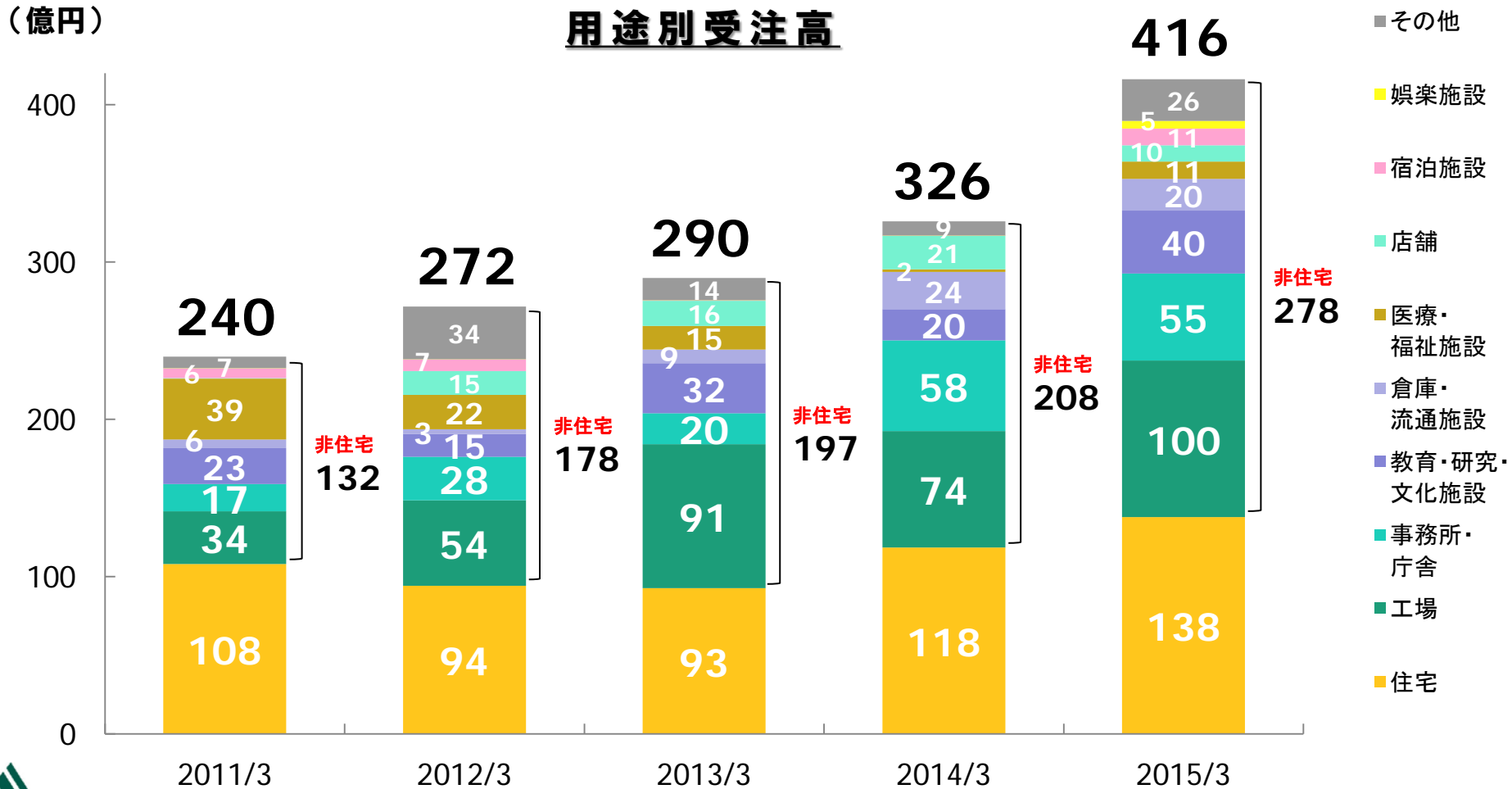
受注高の推移(単体)

■ 受注高は建築・土木ともに順調に推移し、**4期連続増加**。



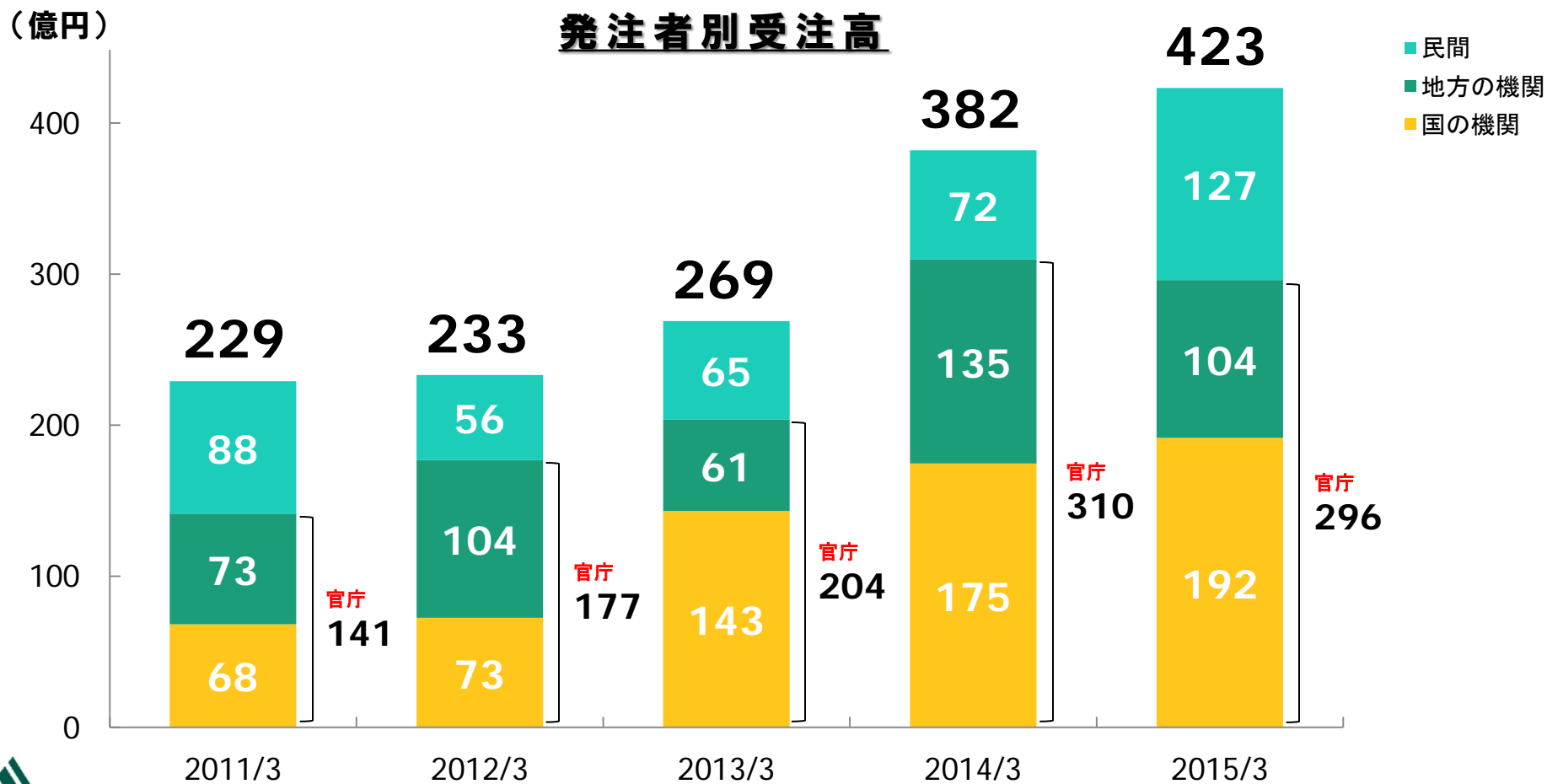
建築受注高について

■ 建築事業は **非住宅分野の受注拡大** に注力し、**5期連続増加**。



土木受注高について

■土木事業は公共投資が堅調に推移するとともに、民間は風力・太陽光等の再生可能エネルギー分野に注力し、**4期連続増加**。



注力する技術の受注について

■ 中期的に注力する技術の受注実績は以下のとおり。

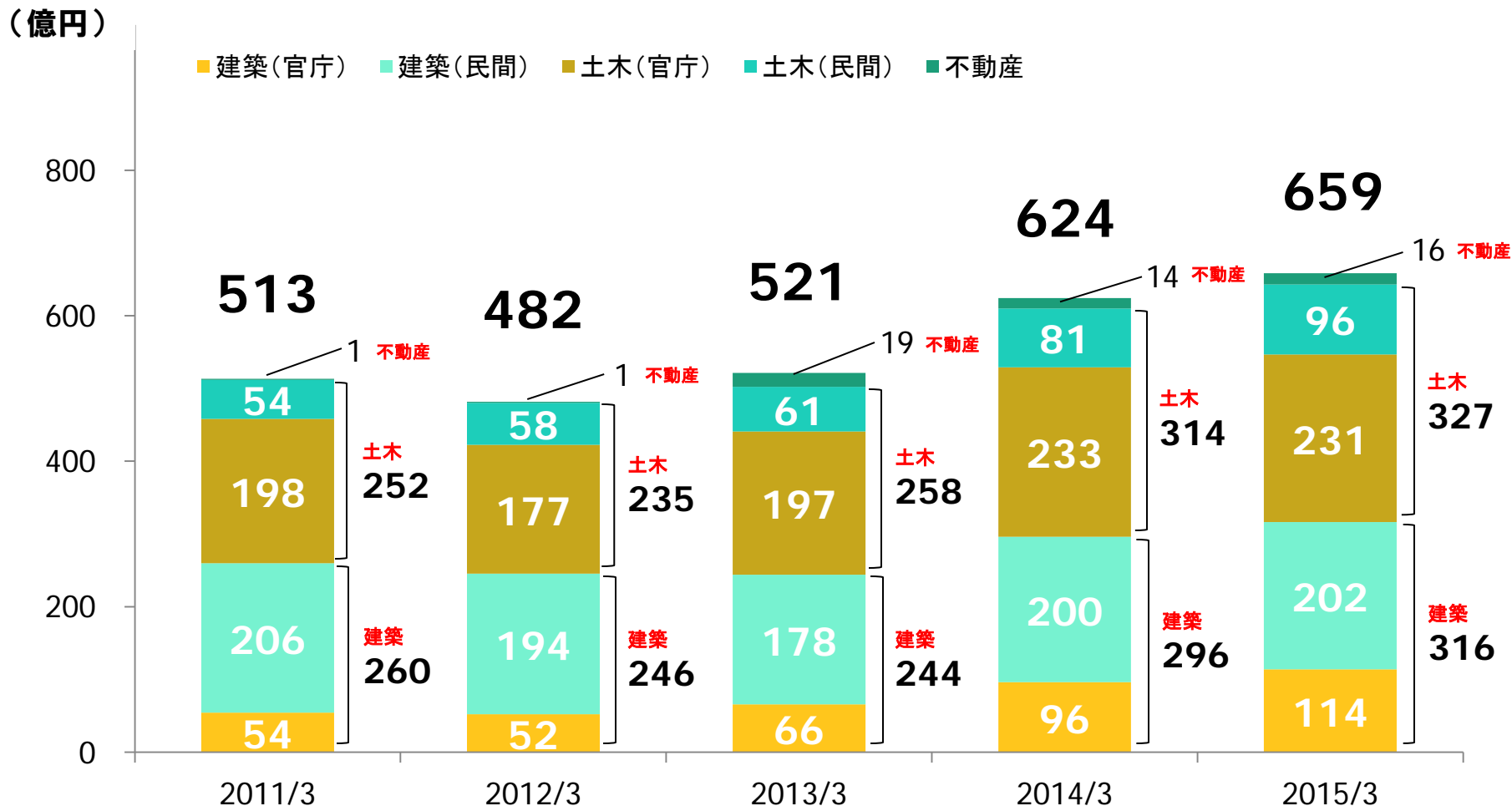
※下表の受注実績値は、建築・土木受注高の内数。

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
■建築技術					
建築リニューアル	9	20	6	16	55
■土木技術					
再生可能エネルギー	2	2	19	21	66
土木リニューアル・環境・無人化施工	28	44	42	94	85
土木技術計	30	46	61	115	151

(単位:億円)

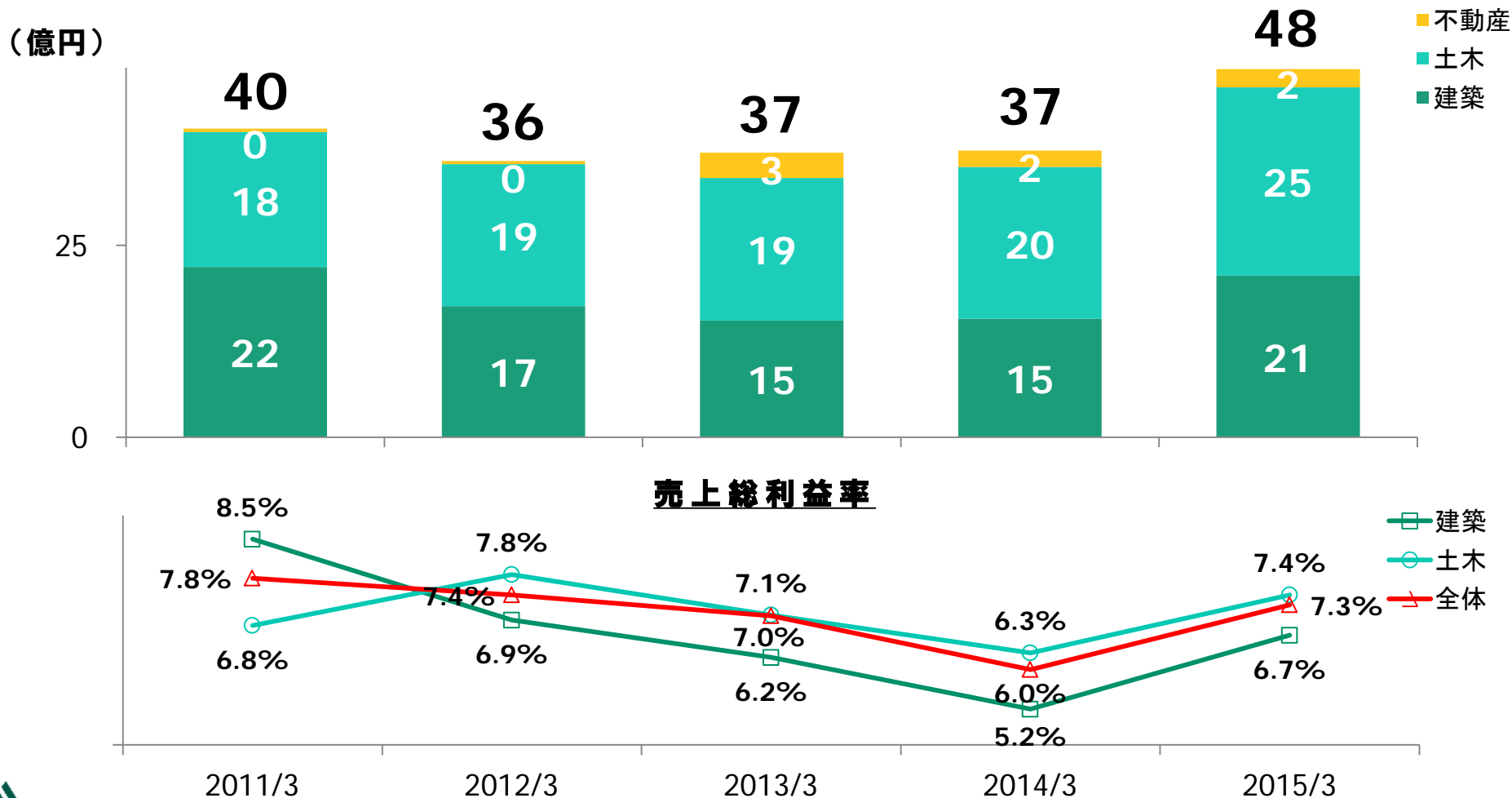
売上高の推移(単体)

■売上高は土木・建築ともに順調に推移し、**3期連続増収**。



売上総利益の推移(単体)

■売上総利益および売上総利益率は建築・土木ともに**改善傾向**。





経営目標

経営数値目標(連結・単体)

- 連結売上高 **各年度100億円程度の増収**、
2016年度連結営業利益率 **3%台の確保** を重点目標とする。

	2015/3		2016/3		2017/3	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
売上高	1,266億円	659億円	<u>1,350</u> 億円	700億円	<u>1,450</u> 億円	750億円
営業利益	37億円	11億円	38億円	16億円	46億円	20億円
営業利益率	2.9%	1.7%	2.8%	2.2%	<u>3.2%</u>	2.7%

事業戦略

環境認識

- 国土強靱化・インフラリニューアル
- 防災・減災
- コンパクトシティ・地方創生
- 人口減少
- 少子高齢化
- 建設技能労働者の減少

持続的成長に向けての事業戦略

青木あすなろ建設	子会社	グループ共通
<ul style="list-style-type: none">■ 技術力の強化■ 新規事業分野の確立■ 顧客の拡大	<ul style="list-style-type: none">■ 得意分野への集中■ 専門技術の開発・改良	<ul style="list-style-type: none">■ 人材の確保・育成

当社グループの重点事業戦略

■特に注力するのは、次頁以降で説明。

建築

- 固有技術を活かし、建築リニューアル分野の拡大。
- 自社分譲マンション事業(アビダス)の確立。
- 官庁および民間非住宅分野の拡大。

土木

- 固有技術やノウハウを活かし、再生可能エネルギーや土木リニューアル分野の拡大。
- 大型プロジェクトへの参画。
- 港湾(みらい建設工業)、法面保護・地盤改良(東興ジオテック)の耐震・防災・減災・リニューアル分野の拡大。

共通

- 研究開発活動の強化(既存固有技術の改良・新技術の開発)とその実用化。
- 人材育成と技術の継承。

建築リニューアル(耐震関連)の取り組み

■ 当社の独自技術である**制震ブレース工法**による耐震工事の受注拡大。



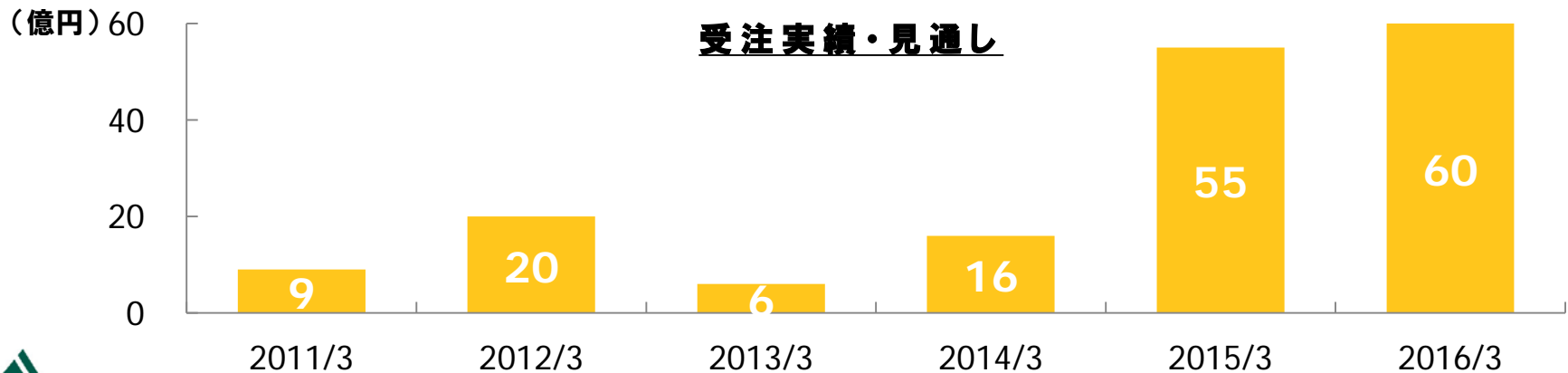
特徴

- ・ 外付け制震ブレース工法
- ・ 高性能な摩擦ダンパー



強み

- ・ 完全居ながらの工事
- ・ スリムな鋼材、外観重視
- ・ 中間階の設置可、杭不要



自社分譲マンション事業の取り組み

■土地取得、企画・設計、施工、販売、アフターサービスまで一貫してサポートする、**自社分譲マンション事業「アビダス」(ABDS)**の安定供給。

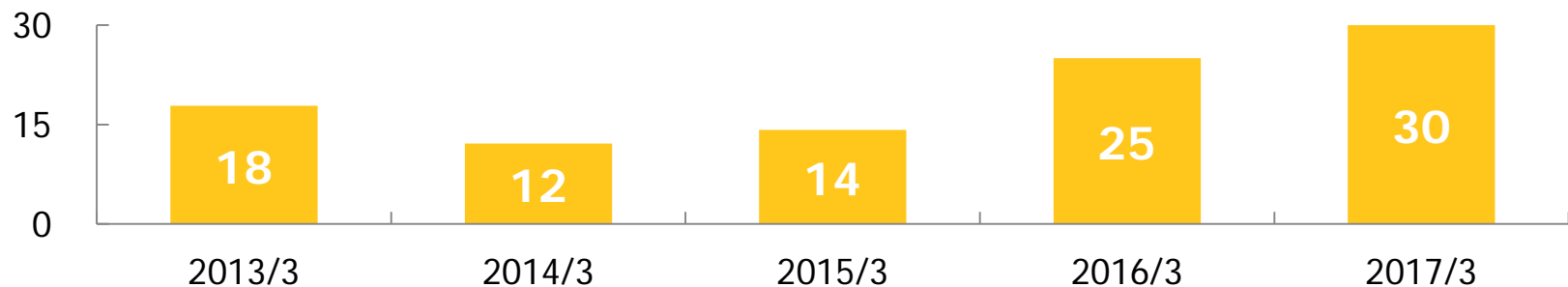
Aoki-asunaro Build & Direct Sales

販売実績	総販売戸数	
アビダス稲木駅前	48戸	販売終了
アビダス町田中町イースト・ウェスト	56戸	販売終了
アビダス町田中町パークス	40戸	販売中
アビダス町田中町ブライト	20戸	販売中
アビダス舎人テラス	47戸	販売中



(億円)

販売実績・見通し

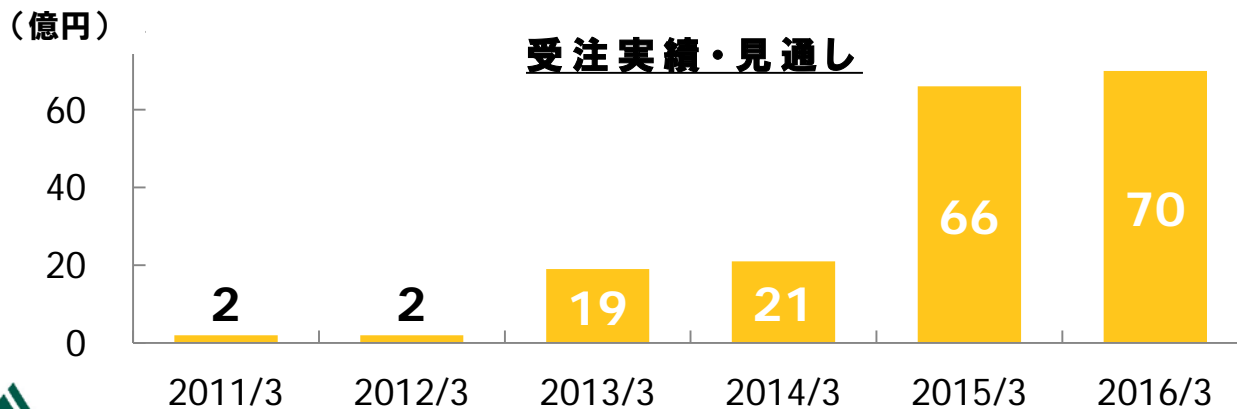


再生可能エネルギー関連の取り組み

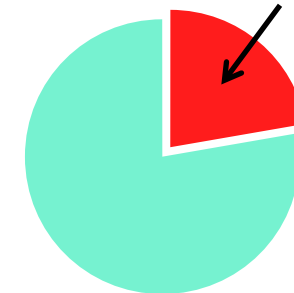
■風力・太陽光発電事業の**技術支援経験を活かし**、再生可能エネルギー関連工事の受注拡大。



- 3次元造成計画システム活用によるスピーディーな計画策定
- 調査・設計・開発許認可・施工までサポート
- 大規模工事をともなう事業のトータルコーディネート



当社が施工した大型ウインドファームの発電シェア 22% (36.3万kW, 182基)



大型ウインドファーム全体の発電規模 163万kW

研究開発活動の取り組み(1)

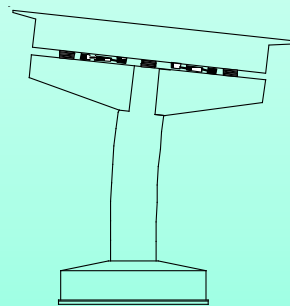
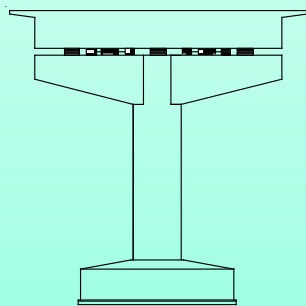
- 当社が取り組む研究開発のうち、このたび実用化の目途がついた**首都高速道路株式会社との共同研究**について説明。

1. 研究テーマ

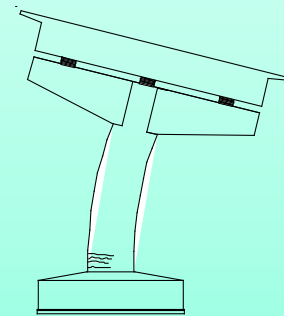
既設橋梁の耐震性を向上させる技術の開発。

2. 研究課題

大規模地震により橋脚が地震後元に戻らないほど変形してしまうと、路面が傾いてしまう上、その復旧は大がかりになる。



小規模地震時
地震後元に戻る変形
[復旧不要]



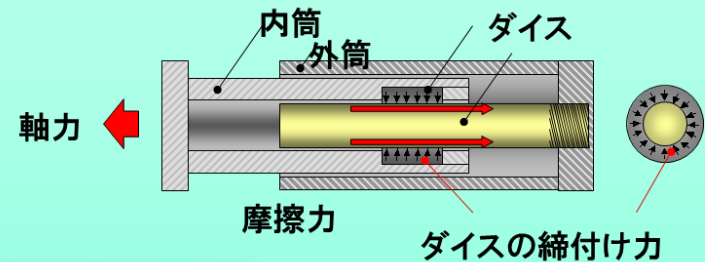
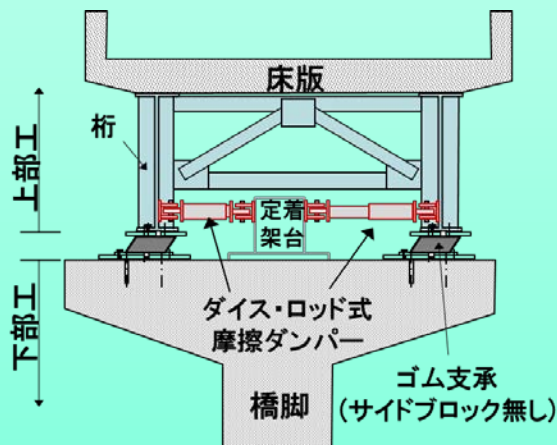
大規模地震時
地震後元に戻らない変形
[大規模な復旧工事が必要]

研究開発活動の取り組み(2)

3. 研究開発内容

地震時における橋脚の変形を抑制、橋桁の移動量を抑制する制震装置(橋軸直角方向)「**橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー**」を開発。

- 内径より少し太い芯棒(ロッド)を金属の環(ダイス)に押し込んだ構造。
- 小規模地震時はダイス・ロッドが橋梁を橋脚に拘束。
- 大規模地震時は橋脚が損傷する前にダイス・ロッドの接触面が滑り、ダイスの締付け力による摩擦力で地震エネルギーを減衰。



研究開発活動の取り組み(3)

4. 橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパーの市場規模

- 国土交通省が管轄する橋梁数は全国で11,092橋、総延長は1,175km。
- 高速道路会社が管轄する橋梁数は8,513橋、総延長は1,949km。
- 一般国道・市町村道まで含めた橋梁数は、679,889橋、総延長は12,525km。

道路種別	橋梁数	延長
国土交通省管轄	11,092橋	1,175km
高速道路会社管轄	8,513橋	1,949km
一般国道・市町村道	660,284橋	9,401km
合計	679,889橋	12,525km

※国交省・高速道路会社は15m以上の橋梁(JRについては数量に含まず)。

出典： 国交省道路局「道路施設状況調査 第1号様式 総括(2010年4月1日時点)」
国交省道路局監修「道路統計年鑑2011」表40-2、表74-1

経営指標(連結)

■株主の皆様への利益還元を経営上の重要な課題の一つと位置付け、財務体質の強化のため**必要な株主資本の充実**に努めるとともに、**安定した配当**を継続しつつ、**企業業績に応じた利益還元**をおこなうことを基本方針とする。

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3
売上高	1,033億円	1,203億円	1,266億円	1,350億円	1,450億円
営業利益率	1.7%	1.8%	2.9%	2.8%	3.2%
有利子負債	—億円	—億円	—億円	—億円	—億円
自己資本比率	59.2%	58.1%	56.4%	50%台	
従業員数	1,524人	1,552人	1,605人	1,700~1,800人程度	
ROE	2.1%	2.9%	5.1%	5~6%台	
配当金/株	12円	12円	15円	15円	未定



AsunaroAoki

青木あすなる建設